



BigData & OpenData
Initiative in Kyushu



BODIK ODCS
BODIK オープンデータカタログサイト

BODIK ODCSサポートサービス

自治体様のオープンデータ運用を加速させる
機能充実のプレミアムプラン



BODIK ODCSサポートサービス

BODIK ODCSご利用団体様向けのサポートサービスです。
基本的な機能をご利用いただけるフリープランのほか、フリープランの機能に加え多様なオプションが
ご利用いただけるプレミアムプランをご用意しております。

料金プラン

	フリープラン	プレミアムプラン
基本サービス	オープンデータポータル（WordPress） オープンデータカタログ（CKAN） オープンデータマップ（独自Webアプリ） リンク切れチェック オープンデータ一覧（自治体標準ODS）の自動作成 コラボレータ（データセット単位のアクセスコントロール機能） セキュリティアップデート システムバックアップ 承認機能（予定）	
機能追加	なし	メール送信によるリソース追加 ビジュアライズ支援 フォト機能の設定 など
運用支援	なし	ユーザー登録やデータセット登録業務の代行 オープンデータ一覧（自治体標準ODS）を毎晩自動更新 削除したデータセットの復元 データセットのプライベート・パブリックの一括変換 など
アクセスログ	毎月前月分のデータを Excelファイルで提供	アクセス分析ダッシュボードを提供
容量	10GB	100GB & 大容量ファイルの登録スペースを提供
IPアドレス登録数	最大2件（自治体内IPのみ）	3件以上可能（外部委託企業のIP登録も可※）
委託先のアクセス	不可	可※
広域サイト構築	不可	可
サポート	BODIKコミュニティ Web問い合わせフォーム	BODIKコミュニティ・Web問い合わせフォーム・メール・電話
料金（税抜）	無料	都道府県/政令指定都市/東京23区/人口50万人以上 55.2万円 / 年 人口5万人以上50万人未満 27.6万円 / 年 人口5万人未満 9.6万円 / 年

※委託事業者の「BODIKパートナー」への参加が必要です。

プレミアムプランの注目の機能

BODIK ODCSサポートサービス プレミアムプランでは、大容量データへの対応や詳細なアクセス分析ダッシュボードなど、オープンデータの利活用と運用業務の効率化を強力にサポートする機能をご利用いただけます。機能は今後も随時追加予定です。

メールでのリソース追加

メール送信によりリソースの追加、更新、削除ができる機能です。

ビジュアライズ支援

自治体標準データセットを公開すれば、マップ地図をWebの記事に掲載する機能です。

フォト機能の設定

オープンデータとして登録した写真の一覧を表示する機能です。

登録代行

ユーザー登録の代行や、データセット、リソースの一括登録、変換などを代行します。

オープンデータ一覧自動更新

自治体標準ODSのひとつである「オープンデータ一覧」を毎晩自動更新いたします。

アクセス分析ダッシュボード

オープンデータへのアクセスを過去にさかのぼって可視化・分析できるダッシュボードを提供。

データ容量増量

データ保存容量を従来の10GBから最大100GBに増量いたします。

大容量ファイルの登録

1つのリソースに対して500MB以上の大容量ファイルを登録するスペースを提供いたします。

エリアサイト構築

都道府県や広域連携のまとめサイトを構築可能です。

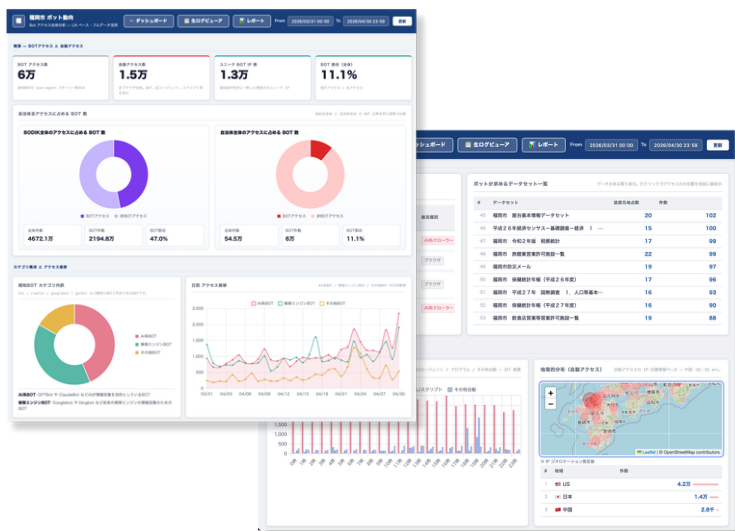
委託事業者のアクセス

外部委託事業者など、自治体以外の企業・団体が管理画面にアクセスすることを許可いたします。※

※委託事業者の「BODIKパートナー」への参加が必要です。

アクセス分析ダッシュボード

アクセス分析ダッシュボードでは、「誰が」「いつ」「どこから」「何のデータに」アクセスしているかを直感的に把握できるので、人気データの把握・整備優先度の決定や、オープンデータ公開の効果測定にご利用いただけます。



庁内報告・効果検証の自動化

- 業務削減: PV・ダウンロード数 TOP20やデータ件数をワンクリックで集計・一覧化。
- 報告書作成: CSV出力と月切り替え機能により、定期報告資料の作成手順を大幅に短縮。

データのニーズ把握と整備方針の最適化

- 優先度の決定: 人気データを可視化し、更新・拡充すべきデータ領域を迅速に判断可能。
- 詳細調査: 特定データの利用履歴やアクセス元（地図表示）をフィルタ・検索機能で細かく分析可能。

API利用ボット動向把握

- アクセス分離: 人による閲覧とシステム・プログラム（API）によるアクセスの割合を判別。
- AI時代への対応: GPTBot等のLLM学習クローラーの検出により、公開データがAI学習にどう利活用されているかの評価が可能。

有償サービスの利用条件

※有償サービスの利用により発生した間接的損害、逸失利益、データの損失等について、当所は一切の責任を負いません。また、天災地変、通信障害、クラウド事業者の障害その他不可抗力による提供停止についても同様とします。

※各サービスの詳細につきましては、サービスごとの資料をご確認ください。

※契約方法は個別契約を基本としますが、上記一覧に金額の記載があるサービスは、サブスクリプション契約（年額制）も選択可能です。

- ・個別契約とは、当所と登録ユーザー間の1対1の都度契約を意味します。
- ・サブスクリプション契約を選択する場合、以下の【サブスクリプション契約の条件】に同意が必要です。

【サブスクリプション契約の条件】

適用範囲 サブスクリプション契約は、BODIK ODCS利用規約の別表1に金額の記載があるサービスについてのみ対応可能です。これら以外のサービス又はこれら以外のサービスが含まれる場合については、個別契約による対応とします。

契約期間 サブスクリプション契約は年額制とし、契約期間は年度単位（毎年4月1日から翌年3月31日まで）とします。

契約の成立 サブスクリプション契約は、登録ユーザーが所定の有償サービスの申込みを行い、当所がこれを承諾する旨の通知を登録ユーザーに行った時点で成立します。

契約の自動更新 サブスクリプション契約は、契約期間満了の1か月前までに登録ユーザーから当所へ書面による解約の意思表示がない限り、同一条件で1年間自動的に更新されます。更新された場合、翌年度の利用料金が発生します。

利用料金と支払い サブスクリプション契約における利用料金の詳細は以下のとおりとします。

- (1) 金額: 申込みに対する受付通知に定める金額とします。
- (2) 請求方法: 当所が発行する請求書によるものとします。
- (3) 支払時期: 契約完了後に請求書を発行してから30日以内とします。
- (4) 支払方法: 当所が請求書に記載する銀行口座への振込とします。
- (5) 振込手数料: 登録ユーザーの負担とします。

年度途中からの契約開始 サブスクリプション契約を年度の途中から開始する場合、当所は当該年度の残月数に応じた月割りで利用料金を算出し請求します。月の途中から利用を開始した場合でも日割り計算は行わず、1ヶ月分の料金を請求します。

年度途中での解約 サブスクリプション契約を年度の途中で解約する場合、登録ユーザーは当所所定の方法により中途解約することができます。ただし、当該年度の利用料金全額をお支払いいただくものとし、日割り・月割りによる返金には一切応じません。

